



● 鳥取県でのスポーツ国際交流員の活躍 ～ジャマイカ交流のさらなる深化へ～ —— 鳥取県地域社会振興部スポーツ振興局スポーツ課

初のジャマイカ人 SEA

2025年8月、本県では初めてとなるジャマイカ人 SEA（スポーツ国際交流員）クリスティン・デイ氏が着任しました。クリスティン SEA は、陸上大国ジャマイカの元代表選手で、2012年ロンドン五輪、2016年リオ五輪の4 x 400m リレーで銀メダル、そして2015年世界陸上でも同種目で金メダルを獲得するなど、輝かしい経歴を持っています。

現在鳥取県スポーツ課に在籍し、中学、高校の部活動での指導や、競技団体、民間団体などが主催する小学生向け陸上教室での指導に携わっています。



メダルを披露し、サインに応じるクリスティン SEA

SEA の活動

クリスティン SEA の赴任は本県にとって必然だったのかもしれませんが。本県とジャマイカとの交流がスタートしたのは2007年、世界陸上大阪大会に出場するジャマイカ選手団の事前キャンプを鳥取市で受け入れたのが

契機です。アサファ・パウエル、ウサイン・ボルト、シェリー＝アン・フレイザー＝プライスといった陸上界を代表する選手たちが初めて鳥取の地を訪れました。その後2015年には2回目となる同北京大会の事前キャンプを受入れましたが、クリスティン SEA も選手の一人としてこの事前キャンプへ参加していたのです。

赴任後まもない9月、早速活躍の機会が訪れました。3回目となるジャマイカ陸上代表選手団の世界陸上東京大会事前キャンプが鳥取市で行われました。クリスティン SEA は元トップアスリートとしての自身の経験や視点を生かしながら、毎日練習会場で選手・コーチのサポートにあたったほか、ジャマイカ選手団と受入側との懸け橋として円滑なコミュニケーションにも貢献しました。その活躍もあり、事前キャンプは大成功に終わり、世界陸上東京大会でジャマイカは計10個のメダルを獲得する快挙を成し遂げました。

事前キャンプが終了し、いよいよクリスティン SEA の陸上競技指導が始まりました。現在、主に小学生向け陸上教室のほか、県内中学校・高校陸上部への指導も担当しています。ウォーミングアップからクールダウンに至るまで、彼女がジャマイカ代表選手時代に実際に行ってきたメニューを、ほぼそのまま実施しています。指導対象年齢や能力に応じて練習メニューを考案しており、アスリート向けには負荷の高い本格的なジャマイカ流スプリント練習もあれば、初級者向けにはジャマイカに伝わる子どもの遊びに由来する楽しい要素を取り入れたメニューを展開するなど、レベルに応じたきめ細かい指導を行っています。

デモンストレーション走の要望にも快く応じ、現役時さながらの華麗なロングストライド走で観る人を魅了しています。指導を受ける児童・生徒の皆さんは、毎回さらさらした瞳、嬉々とした表情を浮かべ、練習に真剣に

取り組み、とても充実している様子が印象的です。実際に指導を受けたある高校の陸上部員は、クリスティン SEA から教わった「Last one, Best one = 最後の1本は最高の走りを」というフレーズが最も強く心に響いた、ジャマイカ流のこの教えは、苦しい練習の中でつい妥協しそうになる自分を奮い立たせてくれたと話しています。

また、競技指導にあわせてクリスティン SEA が獲得したメダルを披露する機会や、出前授業の機会も設け、将来への夢を膨らませたり、向上心を育むきっかけ作りにも力を入れています。メダルを手にした子どもたちは、「思ったより重い!」と実際に首にかけて記念撮影したり、クリスティン SEA にサインを求めたり、交流を深めています。

出前授業では、中学1・2年生の体育授業を担当したほか、中学3年生にはトップアスリートのメンタルコントロールの観点から、オリンピックとしての自身の経験を踏まえ、受験に向けた心構えについて講演も行いました。ネガティブなことは忘れ、今自分がやるべきことに集中し、全力を尽くして、本番に向けた準備を続ければ、成果は見えてくる。完璧を求めず継続すれば、より良い成績につながる、と強調していました。



ウォーミングアップ指導中のクリスティン SEA

初めての鳥取暮らし

常夏の国・ジャマイカから鳥取県へ移住したクリスティン SEA。鳥取県での暮らしはどのような? というのが皆さんの関心事のひとつではないでしょうか。本人曰く、「鳥取県は大都市と違って静かで自然も多く、ジャマイカと似ている。必要最低限なものは揃っているので

暮らしやすい。今ではすっかり鳥取暮らしにも、厳しい寒さ(笑)にも慣れていきます。食生活にも気を配り、自炊して好きな鶏肉とご飯、野菜、果物は毎日欠かさず食べ、自宅やジムでトレーニングも継続しています。」

今後の活動への期待

本県とジャマイカとの交流がスタートして18年。鳥取県に縁のあるクリスティン SEA を迎えたことは、本県にとって画期的な出来事です。今まで単発で行っていたジャマイカ方式での技術指導を継続的に行うことで、陸上アスリートの競技力向上のみならず、あらゆるスポーツの原点である「走る」という動作を正しく、楽しく学ぶことで運動スキルの底上げにも役立つと期待しています。あわせて、地域の皆さんとのさらなる交流を通じて、ジャマイカの食、言語、音楽といった陸上競技以外の面でも相互理解がより一層深まり、ジャマイカをより身近に感じられるよう「ジャマイカ・鳥取スポーツ大使」として交流の懸け橋となって活躍してくれることを心から期待しています。



クリスティン SEA による特別授業の様子